

家庭科学習指導案

題材名「ミシンでソーイング」〔学指要領：B(5)〕

令和5年〇月〇日(〇) 第5校時 家庭科室
高崎市立堤ヶ岡小学校 〇年〇組 指導者 〇〇 〇〇

I 題材の構想

1 題材の目標及び児童の実態

	目 標	児童の実態
知識及び技能	・製作に必要な材料や手順、製作計画、ミシン縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解するとともに、それらに係る技能を身に付ける。	
思考力、判断力、表現力等	・生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。	
学びに向かう力、人間性等	・家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする。	

2 評価規準

知識・技能	①製作に必要な材料や手順が分かり、製作計画について理解している。 ②ミシン縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解しているとともに、適切にできる。
思考・判断・表現	①生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定している。 ②生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について考え、工夫している。 ③生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について、実践を評価したり改善したりしている。 ④生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作についての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。
主体的に学習に取り組む態度	①生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ②生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ③生活を豊かにするための布を用いた製作について工夫し、実践しようとしている。

3 指導及び評価、ICT 活用の計画 ※別紙参照

4 題材の価値

エプロンは、日常生活で使用することがある子供たちにとって身近な平面構成の布製品である。全ての布端について、三つ折りとミシンの直線縫いを繰り返すことで製作することができるため、製作に係る知識や技能を身に付けられるだけでなく、自分で見つけた改善点を次の製作過程に生かすことができる。また、製作したエプロンを家庭の仕事や学校で実際に活用することは、家族とのつながりを深める喜びや楽しさを感じたり、生活を豊かにする意欲をさらに高めたりすることができる。さらに、活用後に仕上がりや実際の使いやすさを振り返ることは、生活の中で用途に応じて布製品を選択する際の着眼点を養うことにつながる。

II 本時の学習（1/11）

1 ねらい エプロンの見本の観察を基に、疑問点やミシン縫いの特徴について話し合うことを通して、ミシン縫いによる布を用いた物の製作についての問題を見だし、課題を設定することができる。

2 展開

【★ICT 活用に関する事項】

主な学習活動 予想される児童の反応〔S〕	主な発問	○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）
<p>1 本時のめあてをつかむ。(5分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><めあて> 見本のエプロンを観察して疑問点やミシン縫いの特徴を話し合い、課題を立てよう。</p> </div> <p>S：ミシンを使えるようにして見本のようなエプロンを作りたいな。</p>		<p>○家庭科の問題解決的な学習の過程を意識して学習に取り組めるように、題材の1時間目に行う活動を問いかける。</p> <p>○ミシン縫いによる布を用いた物の製作について問題を見だして課題を設定するという目的意識をもつことができるように、エプロンの見本を提示する。</p>
<p>2 見本のエプロンを観察して疑問点やミシン縫いの特徴を話し合い、問題を見いだす。(20分)</p> <p style="text-align: right;">【★保存・提出】</p> <p>S：見本のエプロンの縫い目は、手縫いと違って細かくまっすぐできれいだし、手縫いよりも丈夫に縫えているな。でも、手縫いの時のような玉結びや玉どめがないけど、糸が抜けないのかな。</p> <p>S：見本のエプロンは、友達が言うように、自分には大きすぎるから、体に合うサイズで作りたいな。それに、きちんとミシンの使い方を覚えてきれいに縫えるようにしたいな。</p>		<p>○疑問点やミシン縫いの特徴に気付けるように、見本のエプロンを一人一人が手に持って観察するよう促す。</p> <p>○体に合うサイズに気付けるように、見本のエプロンを体に合わせてみるよう促す。</p> <p>○ミシン縫いによる布を用いた物の製作について問題を見いだすことができるように、今の自分のできること、まだできないこと、できるようになりたいことなどを視点に、観察や話し合いで気付いたり考えたりしたことをロイロノートに記述するよう助言する。</p>
<p>3 見いだした問題を基に、課題を立てる。(15分)</p> <p>S：どの班の意見も、きれいで丈夫なエプロンを作りたいというのが共通だな。出来上がったら調理実習や家で料理や掃除などをする時に使いたいな。</p> <p>S：「きれい」につくるために、縫い目をまっすぐにしたいな。それに、「丈夫」につくるために、端までしっかり縫って、縫い目がほどけないようにしたいな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><課題> 学校や家庭で使える、きれいで丈夫な、自分の体に合うエプロンを作るには、どうすればよいのだろうか。</p> </div>		<p>○見いだした問題を共有し、自分たちが追究していく課題を検討できるように、児童の意見を整理して板書する。</p> <p>○自分たちが目標とする状態を明確にして課題を立てることができるように、製作するエプロンの出来上がりの状態を問いかける。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>◆評価項目（思①） ロイロノートの記述内容や発言から、「ミシン縫いによる生活を豊かにするための布を用いた物の製作について問題を見だして、課題を設定しているか」を評価する。</p> </div>
<p>4 本時の振り返りをする。(5分)【★保存・提出】</p> <p>S：見本を観察して気付いたことを友達と話し合い、課題を立てることができた。それに、ミシンを使うと、手縫いよりも縫い目が細かく、きれいでまっすぐに縫えることが分かった。早くミシンを使って、きれいで丈夫なエプロンを作りたいな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><振り返り> S：見本のエプロンを観察して、1学期に学習した手縫いとの違いが分かった。まだミシンの使い方が分からないから、まずはミシンを使えるようにして、縫い目がきれいで丈夫な自分の体に合ったエプロンを作っていきたい。</p> </div>		<p>○家庭科の学び方が身に付いていることを実感できるように、生活の中から問題を見だして課題を設定できたことを称賛する。</p> <p>○次時以降の活動の見通しがもてるように、分かったことやできたこと、今後取り組みたいことを視点に振り返りをするように促す。</p>

(別紙)

3 指導及び評価、ICT 活用の計画 (全 11 時間 : 本時第 1 時) ※指導に生かす評価○、評定に用いる評価●

時	学習活動	知	思	主
1	・エプロンの見本を観察してミシン縫いの特徴や疑問を話し合い、課題を立てる。(あ) 題材の課題 学校や家庭で使える、きれいで丈夫な、自分の体に合うエプロンを作るには、どうすればよいのだろうか。		①	
2	・課題を解決するための学習計画と、エプロンの製作計画を立てる。(あ)	①	②	
3	・ミシン縫いの準備やからぬいをする。(a)			
4	・ミシン縫いの直線縫いや返し縫いで、コースターを製作する。(a)	②	③	①
5	・ミシンを安全に操作して、エプロンを製作する。(a)		④	②
～	周りを三つ折りにして縫う (わき、襟と裾、ひも通し)	①		
10	ポケットを縫い、ひもを通す。	②		
家	・製作したエプロンを学校や家庭で使用したり、他のものを製作したりする。(あ)			③
11	・エプロンを実際に使用したり、他のものを製作したりした感想を話し合い、題材全体の振り返りをする。(あ)			

*活用する学習支援ソフト等 : (あ) ロイロノート

*活用するコンテンツ等 : (a) ミシンの使い方動画